数学の授業について（１年生）

■ 学習の目標

①計算力を身につけ、物事を素早く正確に表現・処理する力 をつける。
②文字を使うことのよさを知り、方程式を解けるようにする。またそれ利用することのよさを知り、実際に活用できるよう にする。
③図形について様々な知識・性質を身につける。
④物事を式・グラフ・表・図形などを使って表し、課題解決に役立てるようにする。
⑤順序だてて考える力や、いろいろな見方・考え方を身につける。

■ １学年の目標

①数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深めよう。
②文字を用いることの意義及び方程式の意味を理解し、数量などの関係や法則を一般的にまた簡単に表現し、処理できるようにしよう。
③平面図形や空間図形についての観察、操作や実験を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深め、論理的に考える力を培おう。
④具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例の見方や考え方を深めるとともに、数量の関係を表現し考える力を培おう。
⑤目的に応じて資料を収集・整理して、その資料の傾向を読み取る能力を培おう。

■ 評価の方法

✸次の４つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

①関心・意欲・態度
・数学に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいるか。
・授業の約束をきちんと守ることが出来ているか。
・提出物（ノート、ワーク、レポートなど）の期限を守り、きちんと出来ているか。

提出物と授業中の態度、挙手、発言、作業などをもとに評価します。

②見方・考え方
・身近なことを数学的に考えることが出来るか。
・自分の考えをしっかり持ち、自分の言葉でまとめることや振り返ることが出来るか。

③技能
・計算などの数量に関する問題を解くことが出来るか。
・図形などを数学的に表現することが出来るか。

④知識・理解
・数や図形などの基本的な用語や公式、計算方法などを身につけており、活用することが出来るか。

定期テスト、小テスト、確認テストや授業中の解答の様子をもとに評価します。

■ 授業の約束

（１）学習用具
①毎回用意するもの…教科書、ノート、ワーク、小テストファイル、のり
②必要なときに用意するもの…はさみ、三角定規、コンパスなど（分度器は基本的に使用しません。）

（２）授業の流れ
①数学係は、カード、小テストを配る。用具を持ってくる。
②3 分前着席をする。（きちんと学習用具を出しておく）小テストを早めに始める。
③号令
④授業（集中する）
⑤号令（数学係は、次の授業の教科連絡をしておく。用具を片づける。）

（３）授業の約束
①先生や発表者の話を聞くときは、話をする人の方に体を向け、話し手を見る。
②発表するとき（指名されたとき）は、みんなに聞こえる声で話す。
③問題を解いたり、作業するときは私語をせず、集中する。

（４）ノートの取り方（ノートはＢ５判の大学ノート類を使用）
①黒板に書いたことはすべて書く。
②余白をつくる。（後で気づいたことなどを記入出来るように）
③色ペン、絵、図、表などを工夫して書く。
④問題は必ず書く。（教科書、ワークの問題は、ページと番号でもよい）
⑤使用したプリントは見開きで貼る。重ねない。折らない。
⑥表に、必ずクラス、番号、名前を書く。
⑦ノートやワークを回収したときは、数学係が指定された場所に運ぶ。